



なら歴史芸術文化村

せんとくんが新たな衣装で、なら歴史芸術文化村をPR

～「太郎冠者装束」のせんとくん登場～

○「たろうかじゃしやうぞく太郎冠者装束」のせんとくんとは

狂言の役柄のひとつ「太郎冠者」の装束は、目を引く意匠が多く、狂言装束の面白さを代表するものとされています。まさに、伝統と創造 — 歴史文化資源の継承及び活用と、芸術文化活動の振興を一体的に推進する「なら歴史芸術文化村」のコンセプトに合致します。

このことから、奈良県マスコットキャラクターせんとくんが、新たな「太郎冠者装束」を身にまとい、令和4年3月のなら歴史芸術文化村の開村に向けたPRなど、奈良県の歴史芸術文化活動の振興のために活躍します。

○狂言と奈良県の関わり

奈良県は、芸能発祥の地とされており、さらに、多武峰や春日大社の神事に奉仕する大和四座が置かれ、猿楽が隆盛し、能や狂言へと発展した地です。

○せんとくん生みの親 籾内佐斗司氏コメント

「中世以来、日本人の笑いを表現してきた狂言の主要なキャラクター太郎冠者は、位は低くても明るくて、知恵とユーモアがあり、いたずらも大好きです。同僚である次郎冠者と協力して、無理難題を言うご主人をやり込めます。なら歴史芸術文化村では、子ども達に狂言に親しんでもらい、美しい身のこなしと、美しい言葉でお腹の底から声を出して話すことの体験をしてもらおうと思っています。そして、なら歴史芸術文化村が奈良における狂言の拠点になることを願っています。」

○せんとくんの「太郎冠者装束」



<太郎冠者装束>



<太郎冠者装束・かしこまり>

○なら歴史芸術文化村ホームページURL

<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>